

## GBIF.org を通じたデータの公表

世界中の生物多様性に関するデータを扱うには、一筋縄ではいきません。何世紀にもわたり、自然界を対象とする科学者や研究者は観察または採取した生物に関する膨大な情報を記録してきました。こうした情報は、世界中の官民の機関によって管理されています。技術の進歩によって科学者はもちろん一般人でも科学的知見の蓄積に貢献できるようになる中、少なくとも理論上は、これらすべてのデータをより良く結び付けることができるはずです。しかし、これらの元データと形式を標準化するのは容易くありません。

GBIF は生物多様性データの研究インフラストラクチャです。大まかにいえば、こうした情報は多様で統一性に欠けるものではありませんが、GBIF は共通する特定の要素に焦点を当てることでデータを統合します。その要素とは、特定の時間と場所で特定の生物が見つかったことを示す証拠です。大部分のデータにはその他にも多くの詳細情報が含まれていますが、GBIF では、その標準化された形式、ツール、ウェブサービスを利用することで、数億種の出現データを含む数千ものデータセットを公表、検索、入手することが可能です。

## 利用できるデータセットの種類

GBIF では 4 種類のデータセットを利用することができ、簡易なデータセットから始まり、これに段階的に情報が加わることで、より構造化および複雑化が進むようになっています。すべてのデータセットに同じくらい詳細な情報が含まれているわけではありません。しかし、部分的な情報でも重要な問いに答えられる場合があるため、GBIF.org を通じて利用できる情報を共有することには意義があります。

---

## 資源のメタデータ

最も簡易なレベルでは、機関は GBIF.org を通じて博物館のコレクションのようなデジタル化されていない資源を説明するデータセットを作成できます。他の 3 つのデータセットにもこの基本情報は含まれますが、この「メタデータのみ」のデータセットは研究者にまだオンラインで利用できない証拠を見つけ、利用する貴重な手段を提供します。また、デジタル化されていないコレクションの相対的重要性を評価し、将来のデジタル化の優先順位を決めるのにも役立ちます。あらゆるデータセットと同様、GBIF は各メタデータのデータセットを一意的デジタルオブジェクト識別子 (DOI) と関連付け、利用者による資源の検索を効率化しています。

---

## チェックリストデータ

このレベルでは、コレクションの説明に加え、名前が付けられた資源のカタログまたはリストを提供します。地域の種名や標本の引用などの詳細も含む場合がありますが、こうした「チェックリスト」は通常、分類群、地理、テーマ、またはこれら 3 つの組み合わせに沿って情報を分類します。例えば、セーシェル共和国のレッドリストに登録されている軟体動物

をまとめたデータセットは、分類群（軟体動物門）、地理、（セーシェル島嶼国）、テーマ（IUCNの絶滅危惧種）という個別の要素を持ちます。チェックリストは、用途に応じて種の概要や基本目録として役立ちます。

---

## 出現データ

GBIF.org で公表されている他のデータセットには、個々の生物が出現した時間と場所に関する情報が十分な一貫性を持つ詳細さで含まれています。つまり、種（または他の分類群）の個体が特定の場所と日時に出現したことを示す証拠を提供します。これらのデータセットは GBIF.org を通じて公表されるデータの中心であり、博物館の標本や化石から、野外調査者や一般人の観察情報、カメラトラップやリモートセンシング衛星で収集したデータまで含まれます。

こうしたデータセットの出現記録には、大まかな地理情報、ときには国名しか含まれていないこともあります。しかし、多くの場合はより正確な場所と地理座標が含まれており、微細スケールでの解析や種の分布のマッピングに役立ちます。

---

## サンプリングイベントデータ

データセットには、さらに詳細な情報を提供するものもあります。これらは、特定の場所と時間に種が出現した証拠を提供するだけでなく、複数の時間と場所をまたがり広範な分類群の群集組成やさらには種の豊富さを評価することも可能にします。通常こうしたデータセットは、植生の横断標本、鳥類センサス、淡水または海水のサンプリングなど、生物多様性を測定およびモニタリングする標準的プロトコルに基づいています。方法、場所、記録した種の相対的個体数を示すことで、これらのデータセットはさまざまな時間と場所で同じプロトコルを利用して収集したデータとの比較を改善します。これにより、最先端の研究者が特定の種が特定の場所から姿を消したことを読み取ることができる場合もあります。